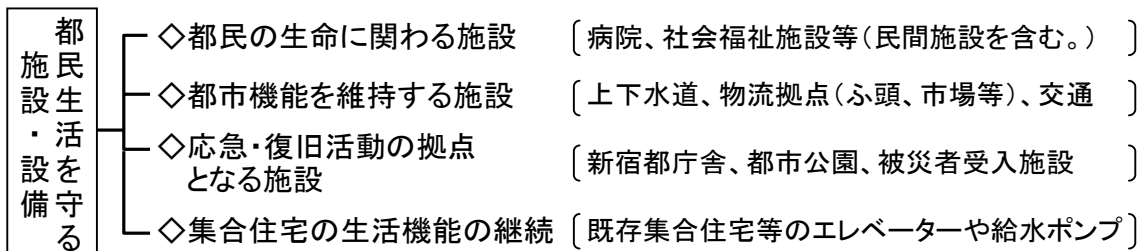


自立分散型エネルギーの推進により、災害に強く、低炭素な都市を実現

取組方針Ⅰ

都民生活を守る施設への自立分散型電源の設置

災害時等、系統電源が途絶えても機能維持が必要な都民生活を守る施設(人の生命に関わる施設やライフライン施設など)等への分散型電源の設置を推進する。



分散型電源の設置※

- ◆都施設: 着実な整備
＜電力対策緊急プログラム事業＞
- ◆リーディングプロジェクトの実施

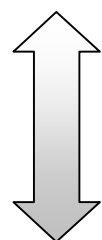
※可能な範囲でCGSを設置し、低炭素化を図る。

取組方針Ⅱ

低炭素なまちづくりに向けた自立分散型電源の設置

都市開発や住宅開発などのまちづくりにおいて、排熱を最大限利用するCGSを設置し、高効率の自立分散型電源の普及を進めるとともに、スマートグリッドなどを組み込むことで、「東京」のさらなる低炭素化を推進する。

面的
(広域的)



拠点的

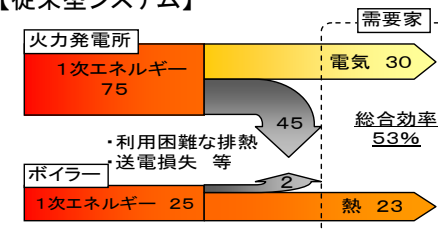
- ◇面的なエネルギーネットワークの構築
＜地域冷暖房システムとの連携＞
- ◇都市開発地域でのCGS等の導入
- ◇住宅におけるCGSの導入

◆建物の省エネを促進する各種制度の活用

◆リーディングプロジェクトの実施

※天然ガスコージェネレーション(CGS)のメリット

【従来型システム】



【CGS】

